

## 平成 23 年度中学校高等学校バドミントン指導者講習会 報告書

報告日時 2012/02/06

報告先 愛知県バドミントン協会 殿 報告者 愛知県バドミントン協会指導部 柳瀬雅仁

### 中学校高等学校バドミントン指導者講習会に関する報告

#### ■ 報告概要

以前より継続しておりました各地区における高等学校指導者を対象とした講習会を、今年度は県内におけるバドミントン経験の少ない中高の部活動顧問を主なターゲットとして講習会を行いました。講師を中口直人氏(はりーあっぷ)にお願いし、中高をはじめとする指導者は 36 名参加いたしました。

#### ■ 報告内容

##### 1)会場について

豊田自動織機技術技能ラーニングセンターにて午前中は講義室、午後は体育館での講習となりました。

DVDの試聴や器具の使用なども大変スムーズに行えました。

##### 2)内容について

事前にファックスで参加者より講習内容に対する要望事項をとり、それを参考に中口さんが講習会のスケジュールを構成して顶けました。バドミントン経験のない顧問の先生方に対する内容だけではなく、最新の練習方法や理論なども盛り込まれ、有意義な講習内容となりました。

##### 3)準備について

当日までに用意したもの:シャトルノック球・ホワイトボード・マイク(2 本)・食事飲料(役員分)・カメラ・当日の講習スケジュール表(指導者人数分)・レジュメ・記入用ボード(指導者人数分)・筆記用具

##### 4)その他

時期的には各団体での大会が終了した時期で、参加しやすい状況であったように思われます。指導者が熱心で意欲が高いということを再確認でき、今後も開催できればと感じました。来年度さらに反省点を活かした講習会の実施を検討したいと思います。

以上

## 平成23年度中高等学校指導者講習会 アンケートまとめ

- どうしたらよいかではなく、何事もこうしたいという思いが出発点だと心を入れ替えます。
- 現状に即して試しながら工夫し考えてやてみます。
- チャンドラ6や MP は早速そのままやってみます。
- 技術的な話も考え方も全て目から鱗が落ちました。「はっ」と目が覚めた思いです。
- ラギングバックの内容を初めて直接聞きました。ストロークの指導に取り入れます。
- このような機会があるのは非常にありがたいです。
- バドミントンを知ってもらい楽しさの中にも厳しさや美しさ、苦しさを織り交ぜながら目的を持たせた指導ができればと今回改めて強く思い直しました。
- 今まで自分がやってきた教えてきた打ち方とは全く違っていて驚いています。
- 各国の違いやそれぞれどういう教え方をしているのかという話は大変面白かったです。
- 内容が絞り込まれており頭が整理しやすかったです。項目を列挙したメモでもあれば理解度も上がったのではないかと思います。
- ラギングバックによって加速するという理論がわかりやすかったので生徒に伝わるのではと思います。
- 走ることの重要性、特にインターバルでの心拍数の上げ下げが必要であることもわかりました。
- ラリーの回数と秒数を計ってみたいと思います。
- 私自身初心者で生徒にどのように指導したらよいか不安に感じていたので早速指導に取り入れていこうと思いました。
- 初心者に対する技術指導方法の話で「ゲームをさせる」ということには驚きました。バドミントンに対するルールやむずかしさを知ったうえで目標を見出すのだなということを知りました。
- 普段は本や雑誌を読んで知識を得るばかりなので実際の練習の動きを見ながら理解できたことがよかったです。
- バドミントンのプレーでは東南アジアのプレースタイルに近づけるように日々指導していきたいと思う。
- 生徒任せにしてしまっているところや部員の数が多いことを言訳にしまっているところがあると痛感しています。
- 部活動指導の目的はバドミントンという競技を通しての集団あるいは個々の人間の育成であると考えています。
- 40 人近い部員をコート 3 面でどうしたらよいのだろうと日々悩んでいます。今日の講習は大変参考となりました。
- 部活動の時間もものすごく短いので 2 人 1 組でたくさんの練習をさせていきたいと思います。
- 伸び悩んでいる生徒にどのように指導していこうか困っていましたが、プレロードの話をしようと思います。ドンピシャの考えも教えていきたいと思います。
- フットワークの戻る意識の大切さを知ることができましたが、フットワークの戻り方を確認できたらよかったです。
- 実戦に基づく練習内容である事や方法であることが勝つためには重要であるので目的・目標を持って練習したいです。
- 今後部員も参加できる講習会であればうれしいです。弱小高校と全国レベルの高校の合同練習会を開いてほしい。
- 練習時間が本当に限られています指導者としてビジョンがもう少ししっかりしていれば効率的な練習になるのではないかと思います。
- 組織の垣根を越えてバドミントンの向上をするというのは非常に良い事だと思います。またぜひ行ってもらいたいです。
- 具体的に練習をしたりフィーダーをすることができてみるだけとは違いよくわかりました。
- グリップの握り方で悩んでいましたが教えを受け無理に直そうとせず色々なフォームで打たせ気づかせていきたいです。
- 午前の解説の際にラケットを持っていた方がイメージしやすいと思った。説明も少し長く感じた。
- バドミントンに対する基本動作が私の中学校ではまだ徹底できていないのが現状です。これからの指導に活かしていきたいです。
- いつもシャトルを買わせていただいているのですが身近にこんなすごい先生がいるとは知りませんでした。
- 打つ・動くことのメカニズムを細かく教えていただきありがとうございました。
- 補助の生徒にするのではなく指導者が自分の体で体験できることの方が今後自分のチームでの助言の仕方を分かりやすく指導できると思います。